

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月14日

計画の名称	海老名市中新田丸田地区まちづくり計画														
計画の期間	令和07年度 ～ 令和08年度（2年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	海老名市														
計画の目標	海老名市中新田丸田地区において、土地区画整理事業による市街地開発にあわせ区域内の無電柱化を図り、災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		272	A	272	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年度		令和8年度
1	海老名市内の無電柱化を進め、災害時の緊急輸送路等の機能確保を図り、安全で快適な通行空間を形成する。			
	海老名市内の無電柱化路線延長 無電柱化整備済延長	5650m	m	8760m

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	海老名市	間接	海老名市中 新田丸田地 区土地区画 整理組合	－	－	無電柱化まちづくり促進 事業（海老名市中新田丸 田地区）	無電柱化 L=2.2km	海老名市	■	■				272		未策定
											小計						272		
											合計						272		

事前評価チェックシート

計画の名称：海老名市中新田丸田地区まちづくり計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○